

# 社協だより

第71号 平成25年10月1日発行

編集・発行



社会福祉法人  
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟  
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844  
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



災害ボラセン同窓会  
フォトクリップ



名取災害ボラセン同窓会の様子。久しぶりの再会に笑顔がこぼれます (写真：上)  
狙いを定めて・・・ナイスイン!! (写真：左下・市老連グラウンドゴルフ交歓会)  
五感を働かせて。視覚障害の疑似体験をしました。(写真：下中央・キャップハンディ体験学習)  
お弁当と一緒に笑顔も届けます (写真：右下・配食サービスボランティア)

2020年 東京オリンピック開催が決まりました。明日のことさえ考えられなかった過去。7年も先のことで歓喜に沸ける現在 (いま)。未来のスターがここ名取から現れることを夢見て、共に明日へと向かっていきましょう。



# 社会福祉協議会 上半期事業のご報告

～平成25年度上半期の  
事業について報告します～

復興支援関係の事業や市民団体との共催事業など、社会福祉協議会が実施した事業についてご報告します。



## ふれあい交流会

七月二十五日、名取市文化会館小ホールにて『ふれあい交流会』を開催しました。この交流会は、東日本大震災で被災された方々の「再会の場」「久しぶりのご友人、知人の皆さまとの語らいの場」として企画しました。

第一部は「マリンバコンサート」と題し、プロの奏者によるマリンバ、ピアノ、フルート、パーカッションの演奏が行われ、「川の流れるように」や「剣の舞」など、誰もが聞いたことのある曲が披露されました。アンコールでは震災復興の応援歌でもある「花は咲く」が演奏され、参加者の皆さまも一緒に歌いました。

第二部の「おしゃべりタイム」では、軽食を食べながら、参加した方々の語らいの場として過ごしていただきました。久しぶりに会った友人と話に花を咲かせ、会場は大いに盛り上がりました。帰りのバスに乗る時には皆さん満面の笑顔で手を振っていました。



▲仮設住宅で作成している小物等の展示コーナーもありました



## なとり復興支援センターひより

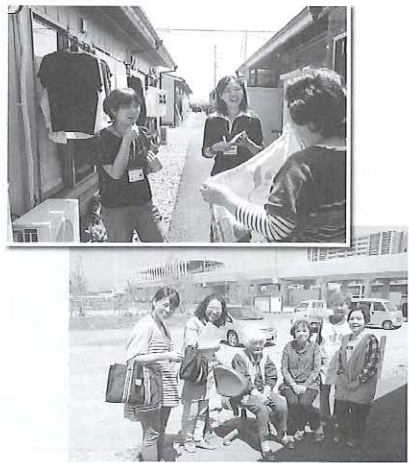
「なとり復興支援センターひより」は応急仮設住宅にお住まいの方々を対象に復興へ向けた支援活動を行っています。

現在三名のコーディネーター、十四名の生活支援相談員がおり、相談員はそれぞれ二人一組となり各仮設住宅の集会所に常駐し、住民の皆さんからの相談対応、仮設住宅自治組織との連絡調整、各世帯への個別訪問、集会所でのボランティアイベントの対応などを行っています。

「ひより」の特徴としては、相談員が仮設住宅に常駐している点があります。このような形で支援活動を実施している市町村は少なく、宮城県内でもほとんどありません。それでも常駐を行うのは、「常に住民の皆さんと共にあり、日常生活の中で頼れるパートナーになりたい」という思いがあるからです。名取市社協が災害ボランティアセンターを運営していた際、合言葉としていた「一人じゃないよ、一緒にがんばろう!!」、当時の思いが現在の「ひより」の運営にも受け継がれています。

常駐するということは、住民の皆さんと一緒に過ごす時間が多くなるということです。自然と関係性も深くなり、住民の皆さんから相談員に対し様々な相談をいただく機会が増えてきました。健康面や人付き合い

いについてなど、その内容は多岐にわたります。そのひとつひとつに対し、関係機関や民生委員と連携をとり、向き合っています。



## 「ひより」へのお問合せ先

なとり復興支援センターひより

(名取市社会福祉協議会)

事務所二階

TEL022・383・3185

## 視察研修の受入

名取市社協が運営を行った名取市災害ボランティアセンターの状況や、なとり復興支援センターひよりでの現在の活動状況、名取市内の民生委員による震災時の対応についてなど、様々な内容での視察研修受入を行っています。

震災以降、多くの団体から視察研修受入の依頼がありました。今年度はすでに六

## 【平成25年度上半期視察研修受入状況】

日 程	内 容
H25.5.20	熊本県玉名市天水町民児協視察受入
H25.6.11	兵庫県西宮市瓦木地区民児協視察受入
H25.6.14	富山県白山市松南地区民児協視察受入
H25.6.21	兵庫県神戸市西区桜ヶ丘地区民児協視察受入
H25.6.28	栃木県宇都宮市豊郷地区民児協視察受入
H25.8.26	福島県会津若松市社会福祉協議会 北会津支所赤十字奉仕団視察受入

団体の受入を行いました。それぞれの団体によって、説明を依頼される内容は異なりますが、今後の災害に備えるための意味合いがほとんどです。

東日本大震災時、たくさんの方々からいただいた温かい支援に対し、このような視察研修受入という形でも恩返しできれば、また、私たちの経験が少しでも被害を軽減させることにつながれば、という思いで来訪される方々に、説明を行っています。

## 介護予防教室開催

介護予防教室は、六十五歳以上の介護認定を受けていない方を対象に、健康維持を目的として毎月一回（六月～十二月）開催されています。

名取南地域包括支援センターの担当地区（館腰地区・名取が丘地区・愛鳥地区）でも、簡単な運動や体操を行うことで筋力低下予防を行ったり、栄養に関する勉強をしたりなど、地域でいつまでも元気に暮らしていけるような取り組みを行っています。



会場の公民館には、参加者の皆さんの元気な笑い声が響いています。男性の参加者が半数というところもあって、

「もっと男性の仲間が集ってもいいのー！」と、みなさん同士の参加を心待ちにしているそうです。

今年度の受付は終了しましたが、来年はぜひ申込を検討して下さい。

### 「介護予防教室に関するお問合せ先」

名取南地域包括支援センター

TEL 022・399・7570

（業務受託法人）

名取市社会福祉協議会

## 夏休みボランティア体験

長期の夏休みを利用して、宮城県名取北高等学校奉仕活動部の生徒十名が、配食サービスボランティアを体験しました。これは週に一度、一人暮らしの高齢者の方などへお弁当を届けるサービスです。

最初は緊張したようですが、「笑顔が見られた」「ありがとう。と言われ嬉しかった」「コミュニケーションがとれて良かった」など、福祉の原点ともいべき事柄をしっかりと学んでいってくれたようです。

※運転・配達ボランティアの方を随時募集しています。興味を持たれた方は、P8の問い合わせ先までご連絡下さい。

## 平成25年度名取市福祉調査表

調査期日：平成25年4月1日現在  
調査員：民生委員児童委員

	増田	増田西	名取が丘	関上（仮設住宅に居住の関上地区の方を含む）	下増田（仮設住宅に居住の下増田地区の方を含む）	館腰	愛鳥	高館・ゆりが丘・相互台・那智が丘・みどり台	合計
ひとり暮らし高齢者	292	189	200	112	25	115	47	159	1139
ねたきり高齢者	24	8	2	7	10	18	8	18	95
高齢者世帯	361	261	346	91	38	208	66	361	1732
在宅重度心身障害児者	38	48	36	34	25	45	21	46	293
高齢化率	18.7%	20.2%	31.5%	31.0%	12.1%	22.4%	17.2%	15.8%	

※関上、下増田地区についてはそれぞれの地区民生委員が担当する世帯として集計しています。

## 名取市の現況

- ◆人口 73,165人
  - 男 35,874人
  - 女 37,291人
- ◆世帯数 26,997世帯
- ◆65歳以上の人口 14,225人
  - 男 6,258人
  - 女 7,967人
- ◆高齢化率 19.4%

（平成25年3月31日現在）

# “再集結” ～新たなスタートとして～



東日本大震災発生当時、名取市災害ボランティアセンターは多くのボランティアに支えられ、その活動を行いました。  
ボランティアの再集結の場、新たな支援活動のスタートの場として開催した「名取災害ボラセン同窓会」、そして「おでって登録システム」についてご報告します。

## 名取災害ボラセン同窓会

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災。名取市社会福祉協議会（名取市社協）は名取災害ボランティアセンター（以下災害ボラセン）の運営を行いました。災害ボラセンは、「大変な状況にいる人たちのため、何か助けになりたい！」と熱い思いを持ち全国から駆け付けたボランティアと、震災により被災され手伝いが必要な方々を結び付けける（コーディネートする）センターです。

その活動は、三月から八月までの約五か月という長期にわたりましたが、その活動期間を通し、名取市社協にはたくさんの仲間ができました。

個人のボランティア、企業や学校など団体でのボランティア、毎日たくさんの方が駆けつけてくださいました。また、災害ボラセンの運営スタッフとして活躍してくれたボランティアもいます。多くの仲間が災害ボラセンに集いました。



▲発起人によるあいさつ



そんな多くの仲間の再会の場として、また、今後も長期にわたる復興支援に対するボランティア再集結の場として、当時活躍したボランティア二名の発起人と共に、「名取災害ボラセン同窓会」を開催しました。  
四月六日の当日、災害ボラセンで一定回数以上活動していただいたボランティアに案内する形で、名取市文化会館小ホールを会場に約百名もの方々が集結し、懐かしい顔ぶれとの再会を果たしました。



▲▼受付など、災害ボラセン当時の様子を再現しました



会場には、当時の看板、ボランティアがメッセージを記入した寄せ書きや活動に使用していたスコップ等の資材など、災害ボラセンで使用していた物を数多く展示し、参加したボランティアもそのひとつひとつに詰まった思いに触れ、当時を振り返っていました。また、受付係などの業務は、災害ボラセンで活動していただいた当時のスタッフ・学校関係の皆さんに協力いただき、運営を行いました。

同窓会には、閉上太鼓保存会による演奏



▲閉上太鼓保存会さんによる太鼓演奏の様子



▲CoCo 吉番屋さんのカレーコーナーは大盛況！



▲災害ボラセン方式でお見送りしました



▲新たなスタートとして、「おでって」をご紹介しました

やボランティア活動写真の上映など、災害ボラセンに縁のある人・物を多く集め、当時に思いを馳せる時間となりました。また、ボランティアの方と当時の話をすると必ず話題になる、CoCo吉番屋によるカレーコーナーも準備しました。CoCo吉番屋はボランティアを支える支援活動として、災害ボラセンで活動したボランティアに長期にわたりカレーを提供してくださった企業であり、災害ボラセンにとって、大切な仲間のひとつです。  
たくさんの方との再会の場となった災害ボラセン同窓会、新たな活動のスタートの場として、素晴らしいひと時となりました。

「名取災害ボラセン同窓会」開催の目的には、縁あって集まった多くの仲間との絆を強め、今後も名取市の復興支援活動に継続的に関わっていただきたいという側面もあります。そのため、同窓会の中では、名取市社協が計画する「おでって登録システム」についての説明も行いました。

## おでって登録システム

「おでって」とは、地方の方言で「お手伝いする」ことをいいます。これからの復興へ向けたさらなる地域への支援に、ボランティアの再集結の道具（ツール）として準備したものです。また、東日本大震災で得た全国各地からの善意に対し、被災地への災害ボラの派遣など、恩返ししたいという想いも合わせて持っています。

名取市社協のホームページからサポーターとして登録すると、その後パソコン・携帯電話等のメールで募集している活動情報などが提供されるしくみとなっています。

社協として計画している活動には

- ① 災害に備えた活動
- ② サロン（お茶会）活動
- ③ イベント支援活動
- ④ おでってシステム支援



## サロン（お茶会）活動



仮設住宅でのサロン開催の様子

被災された方が「集う場」の提供として、仮設住宅などで、サロン（お茶会）を開催します。このサロン活動を名取市内幅広い地域で開催できるよう、仲間の輪を広げていきます。

## 災害に備えた活動



災害ボラセン活動の様子

今後の災害に備えた活動として、定期的な災害ボラセン設置訓練・運営訓練にご参加いただけます。また、東日本大震災の恩返し活動として、災害があった地域へ「おでって隊」としてボランティアに駆けつけます。

## おでってシステム支援



災害ボラセンデータ管理の様子

「おでって登録システム」を支えるための活動です。登録した方のデータ管理やメールでのご案内送信作業など、システムの基盤となる活動やホームページの更新作業などがあります。主に社協事務所での作業が中心となります。

## イベント支援活動



秋祭り出店時の様子

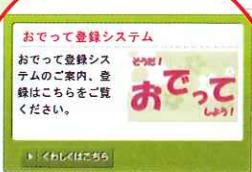
社会福祉協議会や関係団体が実施する各種イベント（スポーツ関係、芸能大会、表彰式典など）で、運営スタッフとして活動していただきます。ボランティア（サポーター）が提案してのイベントも大歓迎です。

## 登録方法についてはこちら



名取市社協  
ホームページを  
ご覧ください！

<http://www.natorisyakyo.or.jp>



災害ボラセンで出会った仲間、そしてこれから出会うだろう多くの仲間との絆をつなぐ道具（ツール）として「おでって登録システム」を多くの皆さんに利用いただきたいと計画しています。

「おでってしよう！」を合言葉に、たくさんの方の笑顔を未来へとつないでいきましょう！



# 名取市社会福祉協議会 現況報告

名取市社会福祉協議会は、皆さんからご協力をいただいた会費や補助金、共同募金配分金、介護保険事業収入等により事業を運営しています。  
ここでは、決算状況および予算状況を報告します。

## 〔資金収支決算書〕

## 平成24年度 収支決算報告

### 《収入》

(単位：円)

勘定科目	決算額
会費収入	5,503,110
寄付金	17,831,038
経常経費補助金・助成金	32,856,515
受託金収入	42,134,961
事業収入	25,728,074
共同募金配分金収入	5,790,559
介護保険等事業収入	210,145,520
授産事業収入	2,545,735
雑収入	1,118,604
前期末資金残高	53,805,865
<b>収入合計</b>	<b>397,459,981</b>

### 《支出》

(単位：円)

勘定科目	決算額
人件費支出	249,241,603
事務費支出	8,865,114
事業費支出	47,534,169
共同募金配分金支出	3,136,316
授産事業支出	2,900,018
固定資産取得支出	2,382,204
積立基金積立支出	13,976,047
当期末支払資金残高	69,424,510
<b>支出合計</b>	<b>397,459,981</b>

## 〔貸借対照表〕

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>103,821,078</b>	<b>流動資産</b>	<b>34,396,568</b>
現金	100,000	未払金	25,945,532
預貯金	57,766,153	預り金	170,112
未収金	35,647,137	仮受金	3,820
会計単位外貸付金	2,300,000	未返還金	1,717,104
会計単位内貸付金	4,260,000	会計単位外借入金	2,300,000
立替金	1,079,985	会計単位内借入金	4,260,000
仮払金	2,408,072	<b>固定負債</b>	<b>0</b>
前払金	259,731	<b>負債の部合計</b>	<b>34,396,568</b>
<b>固定資産</b>	<b>103,779,435</b>	<b>純資産の部</b>	
基本財産	1,000,000	<b>基本金</b>	<b>1,000,000</b>
その他の固定資産	102,779,435	<b>その他の積立金</b>	<b>93,233,639</b>
		<b>次期繰越活動収支差額</b>	<b>78,970,306</b>
		<b>純資産の部合計</b>	<b>173,203,945</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>207,600,513</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>207,600,513</b>

〔資金収支予算書〕

平成25年度 収支予算状況

《収入》

(単位：円)

勘定科目	予算額
会費収入	5,476,000
寄付金	101,000
経常経費補助金・助成金	33,045,000
受託金収入	91,967,000
事業収入	26,012,000
共同募金配分金収入	5,204,000
介護保険等事業収入	203,268,000
授産事業収入	2,522,000
雑収入	418,000
<b>収入合計</b>	<b>368,013,000</b>

《支出》

(単位：円)

勘定科目	予算額
人件費支出	299,819,000
事務費支出	9,098,000
事業費支出	51,115,000
共同募金配分金支出	4,299,000
授産事業支出	2,522,000
その他の支出	1,160,000
<b>支出合計</b>	<b>368,013,000</b>

あたたかい善意 ありがとうございます

名取市社会福祉協議会に寄付をしていただいた方々を掲載いたしました。(平成25年2月1日～8月31日の間)  
善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。

現金の寄付

(敬称略)			(敬称略)		
月日	氏名	金額(円)	月日	氏名	金額(円)
1.29	七十七愛の募金会 代表 鈴木 広一※1	100,000	3.26	府身協東大阪在宅支援センター 菜の花(東大阪市)	100,000
2.15	堀籠 孝男(横浜市)	50,000	3.29	グラクソ・スミスクライン(株)(東京都)	553,300
3.11	名取が丘婦人会 会長 斉藤 栄子	3,000	4. 1	伊丹市障害者地域自立支援協議会 「いたみこどもいちば」参加小学生一同	6,165
	須江 良充(増田)	5,000	4.30	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
	館腰婦人会	10,000	6. 6	一八会 会長 赤沼 博(増田西)	30,000
	防災講座Ⅱ(非常食)	756	7.25	つちや接骨院(増田)	54,293
3.12	男の料理教室	1,257	7.29	長田 勝夫(館腰)	20,000
	やさしいお茶の教室(以上、館腰公民館)	175	8. 1	七十七愛の募金会 代表 中島 芳樹	100,000
	つちや接骨院(増田)	34,531	8. 8	太田 作郎(みどり台)(故 洞口 有光)	1,000,000
	有限会社モンドール 店内設置「善意銀行募金箱」	4,189			
3.15	名取市社会福祉協議会 事務所内設置「善意銀行募金箱」	4,444			
3.18	須江 良充(増田)	7,777			
3.25	名取災害支援センター(館腰)	30,746			

※その他、匿名の方から寄付金(8件・64,262円)をいただきました。

※上記金額の内から指定寄付の分として50,000円を名取市ボランティア振興基金に積み立てました。

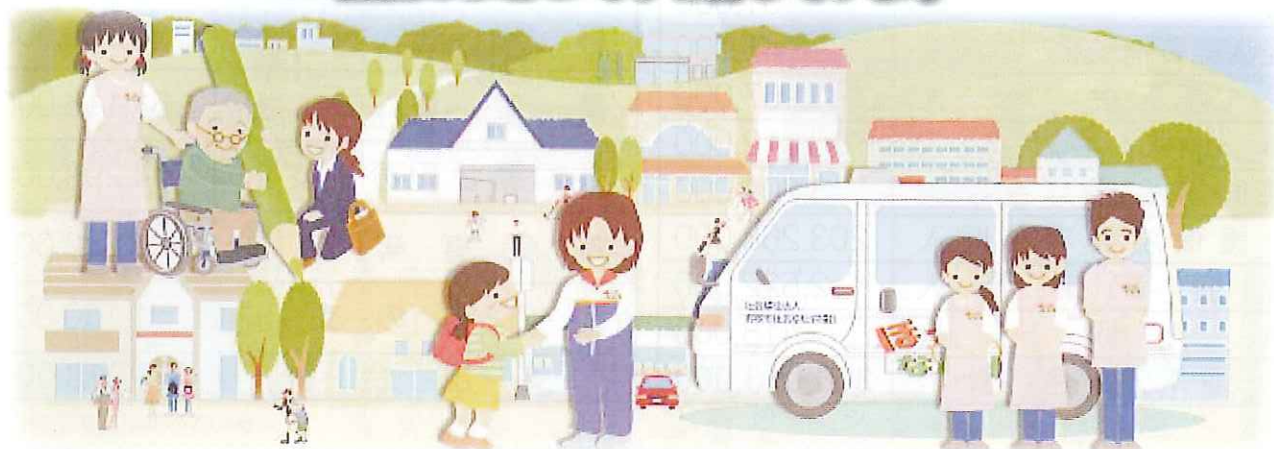
物品の寄付

(敬称略)			
月日	氏名	物品名	払い出し先
2. 1	渡辺 邦夫(館腰)	ガスレンジ 1台	市内高齢者
2. 7	(株)ダイナム 代表取締役 佐藤 公平	日用品一式 354点	みのり園 友愛作業所 市内高齢者
3.11	名取が丘婦人会 会長 斉藤 栄子	タオル 50枚	名取が丘保育所 名取が丘児童センター
3.21	川崎市長 阿部 孝夫(神奈川県)	草刈り機 2機	社会福祉事業に活用
4.25	那智が丘老人クラブ福寿会 会長 菊地 勉	雑巾 180枚	那智が丘小学校 那智が丘児童センター 那智が丘公民館
5. 8	鈴木 かねよ(館腰)	雑巾 100枚	宮城県農業高等学校
5.10	佐藤 米子(東京都)	手作り小袋 31枚	市内高齢者

※その他、匿名希望の方から物品5件(切手シート、タオル、雑巾、毛布、布団)をいただきました。

# 名取市社会福祉協議会からのご案内

～福祉のまちづくりを行っています～



## 「老眼鏡クーポン券」を20名様に差し上げます

メガネの相沢 名取店様より「敬老の日」にあたり、名取市内の高齢者の皆さまへお祝いとして、老眼鏡クーポン券20組をご寄付いただきました。抽選で20名様にこのクーポン券を差し上げます。応募方法は、下記のとおりです。たくさんの方のご応募をお待ちしています。

- 【対象者】 満65歳以上で、ご本人がメガネの相沢名取店まで出向くことができる方（検眼が必要です） ※過去に当選した方はご遠慮願います。
- 【応募方法】 官製はがきに「老眼鏡クーポン券希望」と記入し、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、下記住所へ郵送してください。
- 【応募締切日】 平成25年10月15日（火）当日消印有効  
※申込多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。  
なお、当選発表はクーポン券の発送をもってかえさせていただきます。



## 毎日の介護、頑張りすぎていませんか？～いっぷく堂のご案内～



寝たきりの高齢者や認知症高齢者を介護している方々へ、「いっぷくお茶っこ飲みながら、つもる話しに花が咲き、帰りは笑顔をふれずんと、くろく話も笑いにかえて、仲間どっしりでささえあう」いっぷく堂を10月10日～3月6日までの期間、全7回開催します。参加を希望される方は下記問合せ先まで。ご連絡をお待ちしています。

## 皆様の善意を・・・赤い羽根共同募金運動がはじまります

赤い羽根共同募金運動の季節となりました。いつも皆様のあたたかい善意・ご協力をいただきありがとうございます。

今年も10月1日～12月31日までの間、全国一斉に募金運動が展開されます。できる限りでかまいませんので、皆様からのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



【お問い合わせ、ご相談、応募先】

社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 022-384-6669

<http://www.natorisyakyo.or.jp/>